



子どもたちに「長岡のチームは強い」と思ってもらえるようがんばります！

ロボカップ RoboCup Japan Open ジャパンオープン

2019 ながおか

日時 8/16(金)～18(日) 午前10時～午後4時

会場 アオーレ長岡

岡工業振興課 ☎39・2222

▲サッカー競技に出場する長岡高専ロボティクス部OBのチーム。長岡からは他に、長岡技大と市内企業の合同2チームがレスキュー競技に出場します

世界を変える、世界の最先端ロボの戦いを見逃すな!!



競技種目



サッカー
2050年までに、人間のワールドカップ優勝チームに勝てる能力を競う!



レスキュー
家庭での日常生活で役立つ能力を競う!

災害現場を想定して被災者を発見・救助する能力を競う!

全国・世界各国を代表する大学やものづくり企業などが、自分で考えて動く「自律移動型ロボット」の技術を競う大会「ロボカップジャパンオープン」を長岡で開催します。

前回(岐阜県)は6万人が来場。世界の最新技術を間近で見られるチャンスです。

家族で楽しもう!

- 小学生ロボコン体験(16・17日)
- ロボカップジュニアエキシビジョン
- 地元企業紹介ブース
- 長岡グルメコーナー

長岡が誇る技術・製品の展示やものづくりの体験・実演などを行います。



▲乙吉町に出現した茶色いカラス(左)と通常の体色のカラスの標本。科学博物館で展示しています

茶色いカラスのミステリー
体内に眠る氷河期の記憶

カラスといえば全身黒色の鳥。でもちょっと待って。あなたの近くにいるカラス、本当に黒色ですか——

写真のカラスは、市街地などでごく普通に見られるハシボンガラス。ところが同じ種類でも左のカラスは、頭や胸が茶色っぽく、翼などは白色をしています。このような黒くないカラスが、長岡では時折見つかっています。

なぜ黒くないかというところ、生まれつき体の色素が極端に少ないから。色素が減少すると脊椎動物の体は白っぽくなります。現在ではこのような体が役立つ機会はまれですが、地球が雪や氷で覆われていた氷河期には、白い体は周囲に溶け込む保護色となっていました。遠い昔、祖先が生き抜くために獲得した体を白くする遺伝子を、今なお受け継いでいるのです。通常は眠っているこの遺伝子が偶然目覚めると、このような茶色いカラスが誕生します。

実は長岡では今年も翼の一部が白いカラスが確認されています。——あなたの隣にも氷河期の記憶が覚醒した茶色いカラスがいるかもしれませんよ。



長岡のミステリー 調査せよ!

Vol.5

岡科学博物館 ☎32・0546